

市川教育会館だより

平成27年11月12日 一般財団法人市川教育会館
発行者；一般財団法人市川教育会館理事長 片野良治

★10月定例理事会での承認事項について★

平成27年10月19日（月）の第3回定例理事会において、以下の議事について協議が重ねられました。今回は、「市川教育会館60周年記念誌」に関する協議が中心でした。詳細な推敲は各理事で分担し、行うこととなりました。

1. 議事

市川教育会館60周年記念誌の第一次原稿の検討

(1) 本文及び資料編に関する協議

第1章 市川教育会館の誕生と教育動向

第1節 「市川教育会館」組織設立

※ 設立に関する年次経過、財団法人市川教育会館維持財団の発足ほか

第2節 教育会館設立に向けた資金調達

※ 教職員（組合員）拠出金の拠出状況、寄付金調達の状況ほか

第2章 教育会館と教職員組合の歩み

第1節 全教職員が会館拠出者であり組合員

第2節 教職員が市費負担教職員の時代

第3節 終戦直後の市川市教職員組合の出発

第4節 市川市教職員組合の歩み

第5節 戦後教育と組合活動

第6節 旧教育会館の思い出（關徳太郎先生、石原孝一先生）

第3章 新教育会館の建設と運営

第1節 新教育会館建設への願い

※ 市川市長への会館建設支援要請、建設委員会の本格設置ほか

第2節 建設地選定と建設計画

※ 苦悩する資金調達と市川市からの支援

第4章 新教育会館の運営・活用と管理

第1節 教育支援と地域貢献

第2節 新教育会館の利用状況

第3節 教育会館の保守管理と今後の施設管理

※ 新教育会館建設の思い出（高田和正先生、長谷川千代先生）

第5章 一般財団法人市川教育会館の設立と運営

第1節 公益法人法の改正と市川教育会館

第2節 一般財団法人化への移行認可手続きと理事会・評議員会

※ 「寄付行為」から「定款」へ、公益目的財産額の確定ほか

第3節 公益法人としての今後の運営と課題

資料（歴代理事・監事、一般財団法人市川教育会館評議員、定款ほか）

なお、教育会館設立に向けて動き出した当時の資料は、原稿の状態が不良のため、印刷所に編集を依頼し印刷に堪えるものにしていくことを確認しました。

2. 報告事項

(1) 教育視察助成事業視察者の選考経過と結果について

7月6日（月）に行われた教育視察費助成事業派遣者選考会での決定を受けて、以下の方々の視察決定が報告されました。今年度は、夏季休業中に視察に行くことを可能にするため、応募期間を昨年度より1か月間早く募集開始としました。また、予算的に可能であることから、応募いただいた6名の方を承認しました。

No.	氏名	所属校	出張先
1	古賀裕喜子	柏井小	徳島県立産業観光センター (第56回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会)
2	鶴田 拓也	塩浜中	札幌市道民活動センター「かでの2・7」 (日本学校心理士会2015年度大会)
3	鈴木 雄介	大和田小	広島市立白鳥小学校(第52回全小社研大会)
4	松本 悟	新浜小	大阪市国立国際美術館(大阪教育大学公開講座)
5	佐久間直己	第八中	新潟県立長岡工業高等学校・長岡市立三島中学校
6	住屋 景子	稲荷木小	愛知県蒲郡市立三谷東小学校

(2) 電気使用状況

本年5月以降、月々「-6%~-17%」となっており、節電対策の効果が上がっていると考えています。

(3) 修理修繕状況

本年5月にキュービクル更新工事を実施しています。

(4) 自動販売機設置契約状況

契約更新を行うか、自販機を撤去するか、電力消費量、利用状況委託業者からの受取金額（ロケーション・フィー）を勘案して決定していきます。

(5) 平成27年度「永年勤続者表彰」

小学校28名、中学校27名、合計55名の県費負担教職員に図書券3000円分相当をお渡しいたします。

☆これまでの主な経緯（平成27年度；7月以降）★

H27. 7. 6 第2回定例理事会

→ ①平成26年度決算書の一部追加・変更等について

②市川教育会館60周年記念誌の印刷製本に関する業者選定について

③玄関協東京電力の電柱の仮設電柱の設置について

教育視察費助成事業派遣者選考会

→ 別掲

H27. 7. 15 防災設備点検、通報訓練

H27. 7. 21 文化事業レザークラフト教室① (参加者 16名)

H27. 7. 24 文化事業囲碁教室① → 以下、②7/31 ③8/7 ④8/21 ⑤8/28

(参加者 延べ 合計61名)

H27. 8. 6 教育視察旅費助成事業派遣者選考会

H27. 10. 3 文化事業食育教室 (参加者 19名)

H27. 10. 19 第3回定例理事会 (別掲)